

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 光薫福祉会	代表者	小林 正信	法人・ 事業所 の特徴	①自治会加入と自治会活動への参加 ②地域行事への参加 ③スクールガードの参加 ④介護保険出前講座の実施 ⑤広報誌の発行 ⑥近隣保育園、小学校との交流 ⑦市内介護事業所との連携、合同研修会の実施
事業所名	ビハーラ豆田	管理者	濱野 京子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	4人	0人	1	1人	0人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評の確認	改善計画の振り返りを7月、11月の職員会議時に行う。	職員会議において、改善計画の振り返りを行い、効果が期待出来ない改善計画を中止した。	契約前に数回体験利用する事で、本人がビハーラ豆田に慣れ不安無く利用する事が出来ました。	事業所自己評価(1~9)の改善計画と総括表(A~F)の改善計画を一覧にして運営推進会議参加者に配布。 上記の改善計画経過を運営推進会議にて毎回報告する。
B. 事業所のしつらえ・環境	運営推進会議時、14時~14時10分まで館内外(1F~2F)を拝見してもらい、気づいた点を報告してもらう。	運営推進会議にて事業所内の見学をして頂き、設備及び掲示物や御利用者の様子を見て頂いた。	会議前に見学時間を設けてあるので、ゆっくり拝見出来た。見学時、館内の見取り図があれば良かった。	事業所が外部から見られる環境を意識し、門扉付近に花の寄せ植えを置く。
C. 事業所と地域のかかわり	校区内小学生との交流会を再開する。	校区内小学生5年生が来所し、事業所見学や、御利用者との交流出来た。	地域行事があまりないので、関わりがない。職員と関わる機会が無いので分かりません。	事業所の近くにある、子ども園との交流会を再開する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	月1回のスクールガードを2回に増やす。	月1回行っていたスクールガードを2回に増やし、御利用者と一緒にいる事が出来た。	地域行事の声かけや、茶話会等を設けるのはどうでしょうか？	港町公民館での茶話会を年1回行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域住民向けアンケートを実施。設問に地域の困りごと、心配な事を入れる。	地域住民向けアンケートを事業所広報誌に記載したが、予定の3月に回覧出来ず、4月の回覧となった。	知り合いの方が、ビハーラ豆田を利用していると伺ったので安心しました。	地域住民向けアンケート結果をもとに、事業所で取り組める事業や改善を行う。

F. 事業所の 防災・災害対策	年に2回、運営推進会議メンバーに防災訓練に立ち会って頂き、気づいた点を報告して頂く。	運営推進会議にて、防災訓練の見学をして頂いたが、年1回の見学となった。	避難訓練を見学出来、良かった。消防署職員の助言も聞けて良かった。連絡網の訓練もしてみてもは？	10月、12月の運営推進会議にて防災訓練の見学をしてもらう。
--------------------	--	-------------------------------------	--	--------------------------------